

あしたのこと

工藤 舞

男1の部屋。
ベッドとローテーブル、テレビ等がある室内。部屋の中に簡素なキッチンが備え付けられている。
壁には大きな世界地図（所々に色が塗られている）と、世界の写真が貼られている。
ローテーブルを挟んで座っている男1と男2。
男たちの目の前には缶ビール。

登場人物

男1 : 20代、学生

男2 : 20代、フリーター

男2 z s x d c f v g b h :

男1 え、え、なんて？

男2 j h b g v f c d x :

男1 待って待って。

男2 うるせえな。

男1 だって明らかにさっきと言ってること違うじゃん。

男2 難しいの発音が！

男1 もう一回言って。どこ行ったんだっけ？

男2 だから、

男1 もう一回教えて、国名。

男2 : z s d x c f v g h b

男1 わかんねーよ！

男2 だから日本語で発音できないの！

男1 にしたって聞いたことも無いしなあ。

男2 そんなメジャーな国じゃねえもん。

つけっぱなしのテレビからニュース音声が届く。

「…から発射されたミサイルは、日本の排他的経済水域に落下したものとみられ…」

男2 (テレビを見て) まただよ。

男1 でも多いわ今月。

リモコンを手に取り、チャンネルを変える男1。

テレビからは賑やかなアイドル風の音楽が聞こえてくる。

男2 あ、忘れてたお土産！

男1 お、さんきゅー！

男2、傍らのバッグから箱を取り出し、男1へ渡す。

男1 今回はなんでしょう。

男2 一応、冷やしといて。

男1 なに食いもん？

男2 食えると思うけど。

男1 思っって何だよ。

男2から渡された箱を冷蔵庫に仕舞う男1。

男2 あ、ついでにビール。

男1 はいはい。

冷蔵庫から缶ビールを取り出して持ってくる男1。

男1 (ビールを渡し) はい。

男2 (受け取り) さんきゅー！

男1 でも結構行ったよな！

壁の世界地図を見る男1と男2。

男2 (世界地図に色を塗りながら) 今回のがこの辺。

男1 行ったな！

男2 (地図を指し示しながら) この辺とかもう無いけどな。

男1 あー、最近のアレ？

男2 そうそう…違うヤツ買っかな！

男1 どうでもいいけどなんで俺んちでやんの？

男2 俺んちコレ貼れるスペースねえもん？

男1 貼れる大きさのやつでやれよ。

男2 いいじゃん大きい方が！

男1 わかるけどさ。

男2 いいじゃん友達だろ!?

男1 いやいいけどさ。
男2 お前くらいしか話聞いてくれるヤツいないしさ。
男1 あっ、なんかゴメン。
男2 いや…
男1 …あー、どうだった今回!?
男2 良かったよ。
男1 いいよな、海外!
男2 いいかな。
男1 いいよお!
男2 …だよな!
男1 羨ましいよホント。
男2 うん、めっちゃ良かった。
男1 でしょうよ。
男2 めつつつちゃ、
男1 おお。
男2 …良かったよ。
男1 うるせえよ。
男2 すっげえ空が広がってさ、
男1 おお。
男2 んで濃いのが、色が。
男1 あー、青が。
男2 ううん。
男1 え?

男2 青ではない。
男1 は?
男2 緑。
男1 ん?
男2 真緑。
男1 ちよっと待って。
男2 ん?
男1 …お前あれ?青信号って緑色じゃん、とかって反抗してる人タイブ?
男2 何言ってるんだお前。
男1 いやこっちのセリフだよ。
男2 お前、クロレラって見たことある?
男1 ん、ああ藻みたいな。
男2 あの色。
男1 は?
男2 朝から晩までずっとあの色。キレイだったあ。
男1 待って。
男2 なによ。
男1 …緑?
男2 ああ。
男1 空が?
男2 だからそうだって。
男1 …またまた。

男2 信じてねえな。
男1 信じてねえよ。
男2 ちょっと待て、写真見せてやる。

バッグを探る男2。

男1 百歩譲って緑に見えたんならそれでもいいけど、
男2 見えたとかじゃねえから。
男1 それでキレイはねえだろ。
男2 キレイだってマジで。
男1 だって藻みたいな色なんですよ。
男2 ああ。
男1 それが空なんですよ。
男2 ああ、想像してみ…
男1 キモいわ。
男2 なんだよ！
男1 いいから証拠見せろよ、証拠をよお。
男2 待てって…あ、あった。

荷物から写真の束を取り出す男2、男1に渡す。

男2 緑だろ。
男1 …緑だ。

男2 キレイだろ。
男1 …キレイかなあ。
男2 キレイだろー！砂漠と、緑の空と、このコントラストが！
男1 …うん、でもまあ、
男2 いいだろ。
男1 まあこんな景色は見たことないからなあ。
男2 だろー？
男1 で、何て国なんだよここは。
男2 だから、
男1 あ、ちょっと待って！
男2 何だよ。
男1 (写真を見ながら) お前これ！何この姉ちゃん！
男2 …ああ、まあ…
男1 なんだよその反応！
男2 ちょっとね。
男1 あ、お前。
男2 いや、ちげーよ？
男1 おいおいおい！
男2 いやいや。
男1 乳が、この、手が、お前！
男2 うん…
男1 なんだよ。
男2 男だったんだよなあ。

男1 !
男2 うん。
男1 ……そっか。
男2 うん。
男1 ……(写真を指し) あ、これ、これは?
男2 あ、それ向こうのメシ。
男1 へー、結構うまいじゃん。
男2 そう、結構うまいのよ。
男1 いいじゃん!
男2 これがセミで、これがタガメ、で、これが…
男1 待って。
男2 あ、カミキリムシの幼虫だ。
男1 待って!
男2 なに。
男1 え、え?
男2 なに。
男1 虫?
男2 ああ。
男1 ……オエ。
男2 なんだよ、結構うまいんだぞ!
男1 でも虫じゃん!
男2 虫ですけど!?
男1 キレんなよ!

男2 お前昆虫食バカにすんなよ? 次世代の食糧危機を救うって言われてんだぞ?
男1 だからっってお前…
男2 日本より進んだ国だったんだよ。技術は発達してるし、虫食っし。
男1 ええ…
男2 食ってみればわかるって。
男1 ……あ、お前あれ!
男2 あ?
男1 冷蔵庫の! お前あれ!
男2 食ってみればわかるって!
男1 いらねーよ!
冷蔵庫から箱を取り出し、ゴミ箱に捨てる男1。
男2 あ、おい!
男1 虫なんか誰が食うか!
男2 お前せっかくの土産を…
男1 もらったもんだうしようとして自由だろ!
男2 あーあ…
男1 ……なんだよ。
男2 来たる核戦争後の世界…
男1 は?
男2 食糧危機に陥った世界、圧倒的に足りないタンパク源…

男1 ……
男2 食わなきゃ死ぬんだぞ!!
男1 今食わなくても死なねーだろ!!

男2が男1の頬を叩く。

男1 ……は?
男2 え?
男1 なんで叩いた?
男2 ああ。
男1 なんで叩いた今!?!
男2 ほれ、蚊。
男1 ……やめてくんない?そういう、唐突なの。
男2 汚ね、血付いた。
男1 ……あのさあ、
男2 なに。
男1 ……いや。
男2 はあ?
男1 ……うん、あのさ、俺にとって虫ってそういう存在。
男2 あ?
男1 邪魔。汚ねえし、気持ち悪い。
男2 ああ。
男1 それ食いたい?

男2 ……それもそうだ。
男1 だろ。
男2 じゃあ何で俺は虫を食ったんだ。
男1 俺に聞くなよ。
男2 食う必要無かったじゃん!!
男1 ……まあ、それも旅行の醍醐味じゃん?
男2 俺、実はそんなに楽しくなかったんじゃないか?
男1 自分に自信を持てよ。
男2 うん…
男1 ……あー!なあなあ!

一枚の写真を指し示す男1。

男1 これ!これホンモノ?
男2 ん…ああ、そうだよ。
男1 本物の拳銃?
男2 こういうのは拳銃って言わねえよ。ショットガン、散弾銃。
男1 どっちでもいいよ、なに、撃つたの?
男2 おお。
男1 マジで?
男2 ああ、やっぱ本物の迫力は違うな。
男1 へー!なに、お前そう言うの好きなんだっけ?
男2 まあな。

男1 へー！いいなあ！

男2 いいかな。

男1 いいよお！

男2 やっぱ一回は撃つてみたいよな、ホンモノ。

男1 ああ、ちょっとな！

男2 まあ、それ撃ちに行つたよなもんだからな！

男1 じゃあ良かったじゃん！

男2 だよな！あ、そうだ、お前に虫の代わりにこれやるわ！

荷物の中から布製の袋を取り出し、男1に渡す男2。

男1 おー、さんきゅー！

男2 取り扱い注意だぞ！

男1 なに？うわ臭つ、湿ってるし…

男2 俺が獲つた。

男1 獲つた？

男2 そう、バーン！一発。

男1 え、撃つて？

男2 そう。

男1 …え、いいのそれ？

男2 いいんだってよ。

男1 なんか、獲物？を撃てんだ？

男2 そう、生きてるヤツを。

男1 マジで？

男2 ああ。

男1 ええ…

男2 あ、引くなよ。

男1 あ、いや。

男2 まあ俺も予想外ではあつただけどき、生きてるヤツ撃てる機会
つてあんまねえからな。

男1 確かに、あんま聞かねえな。

男2 これが案外楽しいのよ！

男1 ふーん…猟体験、みたいなの？

男2 猟じゃねえよ。

男1 え、じゃあ何？

男2 んー………

男1 なに、何よ？

男2 あ、戦争？

男1 …は？

つけっぱなしのテレビから、ニュース速報を伝える音。

男2 …なんだ、またテロか。

男1 …いやいや。

男2 いちいち速報いらなくね？もう。

男1 ちょっと待って。

男2 ん？
男1 …戦争？
男2 え？
男1 戦争ってなによ。
男2 ああ！いやまあ、戦争って言ったらおおげさか！
男1 …だよなーそういう設定ってことでしょ？
男2 いや設定とかじゃないけど、
男1 は？
男2 なんかその国と敵対してる民族がいて、
男1 うん。
男2 だからそいつら撃つのに、
男1 おい！
男2 なによ？
男1 …それは、ガチなやつ？
男2 うん。
男1 ヒトを、殺すやつ？
男2 だからそうだって。
男1 じゃあ、戦争じゃん！
男2 あ、やっぱそっか？
男1 え、なにお前。
男2 ん？
男1 …ヒト、撃ってきたの？
男2 ヒトっていうか、

男1 殺したの!?
男2 まあ。
男1 …マジかよ。
男2 え？
男1 マジかよ！
男2 え、なに？
男1は受け取った袋を見つめた後、手を離して距離を置く。
男2 え、なに!?
男1 …ウソだよな？
男2 いやホント。
男1 なんてだよ！
男2 なんてってお前、
男1 そんな平気な顔して、
男2 いや俺だって最初は戸惑ったよ？
男1 じゃあなんで、
男2 いやそういうもんかなって。
男1 …は？
男2 相手だってなんか武器持ってるし、
男1 …
男2 めっちゃ言われんだよ「撃て撃て撃てー」って。
男1 …

男2 あの雰囲気の中で撃つなって方が無理だった！

男1 …

男2 パツと見も俺らと全然違うし、

男1 …

男2 まあ最終的に？一斉射撃でバタバタバタ倒れてくの見るのは、結構キモチイイってどうか。

男1 …は？

男2 まあでも実際見なきゃわかんねえよな！

男1 …

男2 いやマジで！マジで色々ヤバいから、しょうがねえんだって！

男1 …

男2 …なあ、

男2から離れる男1。

男2 なんだよ。

男1 …わかんねえよ。

男2 いやだから、

男1 お前おかしいよ！

男2 はあ？

男1 殺すなよ。

男2 …

男1 なに戦争とかやってんの？

男2 …

男1 意味わかんねえよ。

男2 …

男1 …

男2 じゃあお前は撃たねえの？

男1 …は？

男2 ただ撃たれんの待ってるだけ？

男1 …そもそもそういう状況が、

男2 わかった。…じゃあ、目の前に虫がいます！でっけえヤツ…ああ

蚊でいいや。で、お前は武器…うん、でっけえ蠅叩きを持つてる。

…はい！（手を叩く）

男1 え？

男2 はい！（手を叩く）…殺すだろ？

男1 …虫とヒトとは、

男2 何が違うんだよ。

男1 はあ？

男2 どっちもあぶねーのは変わんねーよ。

男1 …

テレビの番組が変わる。

「ここで、予定を変更して、ニュースをお伝えします…」

男2 え、テレ東速報出した。

男1 ……
男2 マジか、ヤベエじゃん。
男1 ……
男2 日本も物騒になったよな、なあ？
男1 ……
男2 俺まだあつちいた方良かったかな。
男1 ……
男2 なあ？
男1 ……
男2 なあ。
男1 ……
男2 ……とりあえず、今日帰るわー。
男1 ……ああ。
男2 ……立ち上がり玄関の方へ向かう男2。
男2 ……あ、そうだこれ。
男2、荷物の中から拳銃を取り出して渡す。
男1 ……は!?
男2 ホントはお前にやるつもりじゃなかったんだけどさあ。
男1 いらねーよ！

男2 そう言うなって、結構持ちこむの大変だったんだから。
男1 だからって、
男2 すぐわかるから。
男1 は？
男2 いずれ必要になるって。
男1 なんねーよ！
男2 取っつけて、な！
男1 ……俺は！
男2 じゃ、またな。
男1 あ、おい！
男2、出て行く。
テレビからはニュース音声が流れ続けている。
「…で発生した爆発で、これまでに少なくとも30人が死亡し、
負傷者も100人を超えています。警察はこれをテロ事件と見て、
捜査を進めています。付近にお住まいの方々は…」
茫然とそのニュースを見ている男1。
その時、男2が置いて行ったお土産の袋がガサガサと動いた。
男1 ……！
ガサガサと動き続ける袋。
中から何かが出てこようとしているように見える。

咄嗟に、袋に向けて拳銃を構える男1。

不気味に蠢き続ける袋。

手にした拳銃を見つめる男1。

男1は、震える手で、ゆっくりと引鉄に指をかける。
暗転。